

生徒会は学校設立の年、昭和29年5月13日に結成。平成8年度、文部省から松江市が「エイズ教育（性教育）推進地域事業」の指定を受け、同校が研究センターとなり、この年から近隣の小中学校へ出向いています（出張講座）。

- (1) 自分の未来を確実に描き、その実現に向けて努力できる生徒
- (2) 男女共同参画社会をリードするための基礎力を備えた生徒
- (3) ホスピタリティ精神に満ちた生徒
- (4) 節度ある生活習慣とコミュニケーション力を備えた生徒
- (5) 故郷を愛し自国の文化理解の上でグローバルな視点に立てる生徒

松江市立女子高等学校は、昭和29年4月に松江市民の熱烈なる要望により設立された、中四国地方唯一の公立女子高校である。普通科3クラス、国際文化観光科1クラス（いずれも定員30名）の2学科からなり、昨年創立60周年を迎えた。

教育方針として、次のような生徒の育成を掲げている。

「多くの人にエイズの現状と正しい知識を知つてもらう活動」に対して授与された。

松江市立女子高等学校生徒会執行部

津田梅子賞受賞！



輝く高校生。スポーツ、芸術学業さまざまな分野で世界に羽ばたく高校生。スポーツ、芸術学業さまざまな分野で世界に羽ばたく高校生がいます。その活躍と保護者の思いを紹介するコーナーです。今回は個人ではなく、グループで世界の課題に挑戦し、その解決に地道な努力を続ける活動にスポットを当てます。



津田梅子賞とは

2010年、津田塾大学が創立110周年を記念し、女性の才能を拓く個人または団体へ「エイズ教育（性教育）推進地域事業」の指定を受け、同校が研究センターとなり、この年から近隣の小中学校へ出向いています（出張講座）。

これまで行なった活動を踏まえ、対象者は①女性の才能を顕彰することを目的とし、女性の置かれている状況を学び、高校生としてできることを模索し、提案している。現生徒会は会長野津奈穂（普通科2年）、副会長小川有彩（国際文化観光科2年）、引野恵里花（普通科2年）以下、専門委員長、運営委員など19名で活動している。

20を始める。その後、毎年にエイズの現状と正しい知識を知つてもらう活動を続けている。平成11年8月HIV感染者が話題となつていたルーマニア訪問。平成22年「Act Against AIDS Live」開催。

これらは継続的な活動が認められ、平成15年国際ソロープチミスト「ヴァイオレット・リチャードソン賞」、「国際ソロープチミスト松江クラブ賞」受賞。平成21年「島根県青少年育成県民会議」、「日本善行会」より表彰。平成21年度内閣府「社会貢献青少年及び青年健全育成功労者表彰」受賞。

また、平成22年度より生徒会リーダー研修会にて国際協力事業団（JICA）、赤十字奉仕団により病気や災害戦争や貧困に苦しむ世界の人々の現状や女性の置かれている状況を学び、高校生としてできることを模索し、提案している。

現生徒会は会長野津奈穂（普通科2年）、副会長小川有彩（国際文化観光科2年）、引野恵里花（普通科2年）以下、専門委員長、運営委員など19名で活動している。



一般社団法人 全国高等学校PTA連合会後援
AIU高校生国際交流プログラム
(参加費無料)
<http://www.highschooldiplomats.org/>



「育てたいのは、子どもたちの未来。」

私たち、AIU高校生国際交流プログラムを賛助しています。

AIU損害保険株式会社
tel: 03-3216-6611 www.aiu.co.jp

MS&AD 三井住友海上

さあ来い！リスク。

リスクとトータルに戦う
総合保険ブランド[GK]



三井住友海上火災保険株式会社
〒104-8252
東京都中央区新川2-27-2
www.ms-ins.com

TOKIO MARINE NICHIDO
地球の未来にできること。
マングローブ「海の森」づくりは、
その答えのひとつです。



Sompo Japan Nipponkoa

損保ジャパン日本興亜

2014年9月誕生！

損保ジャパン日本興亜株式会社
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL: 03-3349-3111
(公式ウェブサイト) <http://www.sjnk.co.jp/>

津田梅子賞受賞について

校長 大西 七恵

本校では、平成21年度より、岡山県立真庭高等学校落合校地で行われている「三者協議会(学校会議)」を参考に、生徒・教員・保護者が一同に会し、より良い学校の在り方、そして高校生としてのより良い生き方、在り方とともに語り合う、「三者の語らい」づくりに取り組んできました。出席する生徒は生徒会執行部です。保護者の方には広く参加を呼びかけ、希望する方々に出席していただいています。保護者の方々から様々なご意見をいただきながら、やはり、生徒会の「エイズ啓発活動」についてのものもありました。活動継続について激励していくのでもありました。ただくほかにも、もつとエイズについて深く学んではどうかというご意見をいただいたこともあります。それを受けて、平成23年度に島根大学医学部の先生にお願いして、エイズについての講義をしていただきました。この経験をもとに、エイズ啓発のための出張講座で用いる「プレゼンテーション」の内容を大幅に改定することできました。また、保護者の方からアドバイスを受け、「プレゼンテーション」の内容を、小学生向け、中学生・高校生向け、一般の方々向けと工夫したものにしていきます。

今後も「三者の語らい」事業を継続し、保護者の方々からいただくご意見を参考にして、よりわかりやすいエイズ出張講座となるよう、生徒会執行部が工夫していきたいと考えています。また、「三者の語らい」を地域の方々も参加していただく、「四者の語らい」に発展させ地域の方々のご意見を取り入れていきたいと考えています。

生徒会では児童労働、貧困、平和問題などの海外学び、様々な課題や問題の解決について高校生としてできることを考え、出張講座にも取り入れています。また、多くの地域で問題となっている「男女平等」の問題にも目を向けています。これからも、生徒会は津田梅子の生き方に学びながら、活動を更に発展させていくよう、努力していきます。

PTAから生徒に期待すること

PTA会長 小澤 崇良

「津田梅子賞」を松江市立女子高等学校が受賞するという快挙は本校の新たな輝かしい歴史を刻むこととなり、在校生をはじめ関係者にとって大きな喜びとなりております。

先生方の支援のもと、「エイズに関する啓発活動」をはじめとする様々な取り組みを継続してきたこと、また今後の継続を含めて、賞の選考基準にあら「女性の可能性を広げる取り組み」、「地域社会に顕著な影響を与えた」団体として選考対象となつたと考えます。中国地方また山陰の松江の地であつても、選考委員各位から適正な評価をいただくことができたことを光榮に思います。

世界の中で日本は、まだまだ女性の社会的地位の向上が遅れています。この意義ある受賞から、在校生はもとより卒業生並びに今後入学する後輩生の皆様には、母校を誇り、一人一人が自信を持ち、社会へ果立つたのちも志を持つて、継続して学び、人格を高めて行く努力をしてほしいと思います。そして島根に松江に住みながら、輝きを持ち認められる女性になつていただくことができる」と期待いたします。



右から
松江市立女子高等学校 大西七恵校長
松江市立女子高等学校 生徒会会長 安達優華さん(受賞時)
津田塾大学 國枝マリ学長

●1993年10月創刊 ●全国3,896校の生徒が愛読(2014年4月号)
●タブロイド判/オールカラー/平均24ページ ●毎月10日発行

高校生の生きる力と知恵を育む新聞です

勉強、部活、行事と忙しい学校生活。進路や友人関係など悩みもあることでしょう。高校生新聞・高校生スポーツはそんな高校生を応援する新聞です。毎号読めば、やる気アップ、毎日が充実すること間違いない!高校生はもちろん、先生方、保護者、中学生も必読です。

▼ホームページでも高校生のニュースを発信!

www.koukouseishinbun.jp/

TEL.042-725-1155
FAX.042-724-2710
henshu@sclpa.jp

SP 学生スクールパートナーズ

編集部

本社:〒194-0022 東京都町田市森野1-34-10
西日本支社:〒552-0013 大阪府大阪市港区福崎3-1-148